

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	みずほひじり保育園
日時	R8年 3月 24日 (火)

1. 活動テーマ

<テーマ>

色の違いを見てみよう！

<テーマの設定理由>

草花を使った色水遊びや藍染体験など、自然物を使った染液作りや染物に興味が高まった。これまでは同じ素材で染めていたが、素材を変えたら色の変化はどうか？と興味を持ったため。

2. 活動スケジュール

- ・素材の違いを見つける。
- ・玉ねぎ染めを通して、色の変化や違いに気づき知らせる。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

ガスコンロ、ステンレス鍋、玉ねぎの皮、ネット、ゴム手袋、割りばし、塩、計量カップ、バケツ、ホワイトボード、ペン、布(キャンパス地、タオル地、ガーゼ)、ミラーレスカメラ

4. 探究活動の実践

<活動内容>

これまで、自然に親しむ活動の一つとして、草花の色水遊びやナス・藍の栽培から染め物体験を行ってきた経験を振り返る。染める布の素材を変えたら、色はどうか？問いかけ、玉ねぎの皮からどんな色になるのか？また素材を変えたら色に変化は見られるのか意見交換を行う。3種類の布を染液につけ染める過程の中で、においをかいだり、色の変化に気づいていく。発見を周囲に知らせ共有する。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

① 「どんな色に染まるかな？」の問いかけに、「黄色」「茶色」「橙」といった身近な色の他、ピンク、緑、青など、様々な意見が出て、創造を広げる様子が見られた。



② 煮出す様子を観察し、「醤油の色みたい」「でも匂いは玉ねぎだ」「布も黒くなっちゃうかな？」と興味深く見つめる姿があった。



③ 「匂いがほとんどしなくなった」「みんな同じ色に見える」「藍の時は全然違う色だったけど、玉ねぎは皮の色と同じかも」



④ 左からガーゼ、タオル地、キャンパス地。「色が違う！」「布が違うと、色も違うんだ」「思ったのと反対だった」柔らかい布の方がよく染まると予想する子が多く、結果に驚いた様子だった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

今回の活動を通して、同じ染液であっても素材の違いによって染まり方が異なることに子ども達自身が気づき、自然の不思議さや素材への関心を深める姿が見られた。

また、想定よりも濃い色に仕上がったが、その中でも子ども達は色の違いや変化に目を向け、「思っていた色と違う」「こっちは薄い」など、様々な意見や発見を口にしていたことが印象的だった。

活動の結果だけでなく、過程の中で生まれる気づきや対話の大切さを改めて感じる機会となった。今後も自然に触れる体験を取り入れながら、子ども達の探求心や気づきを引き出していきたい。